

館報

夏のおもいで



8月号

No. 808

令和5年
(2023年)

やまがた



村の農業の発展を願って

やまぐち
山口

しゅんすけ
駿介さん (小坂)

朝の畑でスイカの収穫をする駿介さん。家族4人で連携して大きなスイカをトラックいっぱい積んでいきます。今年から家業に入った駿介さんは「若い人が農業をやることで村の農業が盛り上がってほしい」とやる気に満ちた表情で話をしてくれました。

(8月4日 村内スイカ畑にて)

働姿

図書館からのお知らせ

*蔵書点検のため、臨時休館します。

期間：9月12日(火)～15日(金)

ご不便をおかけしますが、よろしくお祈りします。

なお、本の返却は、返却ポストで受け付けています。

*パスワード登録お手伝いします。

家から予約・延長。予約本ご用意のメール連絡、何かと便利な図書館パスワード、登録してみませんか？お手伝いします。

*「デジとしょ信州」体験、いかが？

電子書籍を借りてみませんか？

体験会を開催します。

期間：9月15日(金)～10月31日(火)

ご予約ください。

お問い合わせ

山形村図書館 ☎0263-98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館へ！

BOOK No.65 編集＝山形村図書館

山小3年生、図書館を使ってみました。

7月5日(水)、7日(金)、12日(水)に山形小学校3年生が、クラスごとに図書館見学に来てくれました。

司書から、図書館の使い方、本の探し方の説明を受け、早速図書館探検。

「占いの本はありますか？」
「迷路の本は？」
「はい、こちらどうぞ」「シリーズで借りてもいいの？」
「もちろん！」「借りられていて無い！」「予約もできるよ」
おのおの、好きな本を選んで、ご満悦でした。

図書館見学以降、3年生の図書館利用率が急上昇しています。
「また来たよー、奥で宿題やっ



てくる！」と友だちと連れ立って毎日のように来てくれる子。家族を連れてきて「本は10冊だよ。借りますっでカードを出すんだよ」と利用の仕方をレクチャーする子。なんともほほえましい光景を繰り広げています。

これを機に大いに図書館を利用し、親しんでもらいたいと思います。

図書館の夏は科学の夏①

7月23日(日)、アクアの会の上條一則さん(下竹田)の案内で、親子25人がビオトープ(思い出探しの水辺)で遊びました。生物の保護のため、立ち入り禁止になっているビオトープが多い中、将来この環境を守る一員になってほしいという会の願いから、子どもたちに開放してくれています。アカハライモリ、ドジョウ、フナ、ガムシ、コオイムシ、ヤゴなど、さまざま

な生き物に出会いました。元昆虫少年のお父さんが虫の特徴



を解説してくれたたり、水生生物に詳しい5年男子が雌雄の見分け方を教えてくれたり。身近な生き物とたつぷり触れ合いました。

図書館の夏は科学の夏②

「虫博士になろう」展
7月22日(土)から8月23日(水)の小学校夏休み期間中、虫に関する本を展示しました。カブトムシを筆頭にクワガタ、カイコ、ダンゴムシなど、子どもたちに馴染みの虫の本が勢揃いしました。



「この幼虫が成長するとどんな姿になる？」という幼虫クイズを用意しました。ふだんよく見かける虫たちですが、幼虫を目にする機会はなく、苦戦する子がほとんどでした。

「アゲハは自分で飼ったことあるからわかる。」「これはお蚕!!」と即答の5年生。(昨年育てましたね)

実体験は、本物の知識となって子どもの中に残ります。生命力全開の夏、野山に飛び出してみましょう。

BOOK 65 新着本

おすすめ新着本紹介

『師匠はつらいよ』

杉本昌隆(文芸春秋)



将棋界を席卷する天才・藤井聡太。その師匠である著者が、強すぎる弟子と将棋の喜びをユーモラスに綴ります。

『人間ドックの作法』

森勇磨(中央公論新社)



心構え、受けるべき検査、検査結果の見方など、年に1度の健康チェックを完璧に使いこなしましょう。

『アーヤと魔女』

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ(徳間書店)



ジブリの長編アニメの原作です。魔女の家でこき使われてばかりのアーヤ。黒ねこに助けってもらい、反撃の呪文を作ります。

『データメ研究所』

小波秀雄(福音館)



サイコロを振って「1」が出る確率は6分の1。ホント？実際に100万回サイコロを振ってみました。どうなったと思う？

新着C

コブクロ、幾田りら、MISIA、坂本龍一、三山ひろし、P!NK、ペントトニックス他



あのお祭りが帰ってきた！

第39回 夏祭り



実に4年ぶりの開催となった、第39回夏祭り山形じゃんずら。検討会議を重ねて、土壇場で発生した台風7号の危機も乗り越え、無事開催することができました。じゃんぷろを中心にな常に多くの若者で賑わった今回、入念な準備と入場者の節度ある行動が久しぶりの夏祭りを成功させたのだと思います。夏の思い出がまた一つ生まれました。



第36回すまやか杯大会

山形少年サッカークラブ40周年記念



7月23日(日)、トレーニングセンターグラウンド他2か所で、第36回すまやか杯大会が開催されました。

5年生主体のAチームも4年生主体のBチームも、惜しくも決勝には残れませんが、最後まで直向きにプレーする姿に、保護者から大きな声援が送られていました。

代表の直井正一さん(中大池)は「すまやか杯は今回で36回目です。大会なので勝ち負けはありますが、練習の成果が出せたり、試合でしか得られない経験ができたりするの

で、そういうところも見ていただいで、これからも応援していただけるとありがたいです」と話していました。



また同日、ふれあいドームで、山形少年サッカークラブの40周年記念撮影が行われました。

キャプテンの藤澤岳さん(小坂)は、「予想以上に長く続いていると思います。飾られている歴代ユニフォームにいろいろな種類があつて、チームがどれくらい長くやっているか実感できました」と話していました。



ゴールネット寄贈



8月7日(月)、山形少年サッカークラブから山形小学校への寄贈・目録贈呈式が行われました。

子どもたちに大人気のサッカーですが、山形小学校グラウンド内に設置してあるサッカーゴールのネットが穴が開くなど消耗している状況であつたため、普段小学校グラウンドを練習場所として利用している同団体が授業や休み時間など、子どもたちに楽しくサッカーをしてほしいと無償で提供されたものです。寄贈を受けた山形小学校の大池昌弘校長からは「小学校にはさまざまな備品があり、なかなか更新が追いつかないものも多い中で、子どもたちのために寄贈いただき大変ありがたい。大切に使用させていただきます」と話されました。

生き生き塾 活動記録



8月1日(火)

踊ろう!

じゃんずら音頭を踊ろう!

トレーニンングセンター大ホールにて、じゃんずら音頭を踊りました。4年ぶりに開催されるじゃんずらに向け、気合が入ります。参加者のみなさんは、「踊りを忘れていたかもしれない」と心配していましたが、すぐに感覚を取り戻したようでした。短い時間の中でも、集中して取り組んでいた姿が印象に残っています。素敵なじゃんずら音頭を見せていただきまし

また、じゃんずら音頭を踊った後は、映像を見ながらストレッチを行いました。全身を使った運動で、身体をリフレッシュすることができました。



熊出没に注意

今シーズンの山麓には熊がよく出没し、畏にかかるペースが例年になく早いそうです。7月末までに7頭が捕獲されており、好物のバライチゴ、トウモロコシなどを求めて来ているようです。猪・鹿も出没し、「何かの兆しか」などとジブリの映画「もののけ姫」に感化された私の杞憂に終わることを祈ります。

現在、猟友会の中核世代が70代を迎え、有害獣対策も何とか凌いでいる状況とかがいます。5年、10年後を想像すると、いま方策を立てる時かなと感じました。



おめでた字・題

中村 月音 翔 下竹田 佳奈

おくやみ

山口 一成・94歳・小坂
鈴木とよ子・90歳・下竹田
籠田 豊里・88歳・小坂
百瀬 明男・88歳・小坂
山口 光子・91歳・下竹田

令和5年
8月14日(月)

おめでとう
ございます

二十三歳の集い

ミラ・フード館
10:00～

平成12年(2000年)
平成13年(2001年) 生まれ

116名
参加者 44名



コロナ禍により2020年に成人式が行われなかったため、今年二十三歳の集いとして開催されました。

